



Title	日本公衆衛生学会総会：注目あび名古屋で開く
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 1970, 25, p. 50-50
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/84339
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

日本公衆衛生学会総会

注目あび名古屋で開く



第28回日本公衆衛生学会は10月28日から30日までの3日間、名古屋市において挙行され、全国から関係者約4,000人が参加、8会場に分かれて研究発表やディスカッションが行なわれた。

公害問題が大きな波紋をもって広がりつつあるときだけに、この学会の持つ意義も再認識され、会場にはこの学会によせる期待と、今後のあり方への模索とが

交錯していた。

メインテーマは「70年代の公衆衛生——60年代における社会経済構造の変化が国民の健康に及ぼすものをふまえて——」で、食品衛生、廃棄物などの問題も脚光をあび、3日間にわたる日程を終了した。

(写真＝メイン会場での公開討議)